

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	放課後等デイサービス どれみ	公表日	2026年1月27日
		利用世帯数 (利用児童)	26世帯 (29名)
		回収数	20

		チェック項目	評価及びご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	別 表 (グ ラ フ) に て 公 表	身体を動かすレクリエーションやイベント等、適宜近隣の会館等事業所以外のスペースも活用しながら活動に応じて対応している。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		基準の配置数より多くなるように職員を確保しており、特に外レク・イベント時は児童の特性に合わせて多めに配置できるよう努めている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		子どもたちにわかりやすいように室内の表示をしており、視覚支援も取り入れながら工夫しているが、改善の余地があるので保護者や職員間での意見も取り入れながら改善していく。各所にゲートやロックを取り付け、危機管理に努めている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		毎日の掃除に加え、年に2回子どもたちと事業所全体の大掃除を行っている。その際に大きくレイアウトを変更したり使用しやすい環境を子どもたちと一緒に作っている。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		特性や現在の問題点だけではなく様々な点において原因を探りながら保護者や各関係機関と情報交換及び協力し合い適切な支援やアドバイスを行っている。また、職員の療育知識・技術向上の研修等も積極的に行っている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		概ね相違はないと思われるが、保護者・職員の意見も取り入れながらより良いサービスにつなげていけるように努めている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	事業所内だけでなく様々な体験ができるように野外活動やイベント、レクリエーションなど行っている。利用者・利用状況に合わせて外食体験なども臨機応変に対応している。		
13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	契約時に各規程・重要事項・利用方法・支援プログラム等をご説明させて頂き、書面もお渡ししている。		
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	半年に一度は必ず個別支援計画と共に現在のお子さまの様子をお伝えしている。見直しが必要な場合はその都度計画の見直しを行っている。		
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	クリスマス会など日ごろの様子を保護者に見てもらう機会を設けている。また、希望者には随時面談を行っているが、もう少しオープンに話しに来れるスペースを作っていく予定である。		
			連絡帳での報告に加えて、職員同士情報共有をしながら送迎時などに活動の様子などより詳しい内容をお伝えするように努めている。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	個々の性格や特性への思い込みを無くし、様々な視点からアプローチ方法や原因を柔軟に探れるように職員間で意識して子どもたちと関わっている。親御さんには良いことも悪いことも包み隠さず事実を伝えるようにしている。その上で言いつばなしではなく保護者の気持ちや意向に寄り添い、子育ての責任を分かち合いながらより良くしていけるように努めている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	年に数回、保護者やご兄弟も一緒に参加できるイベントを設けている。 ご要望の多かった保護者の談話会を試験的に取り入れる予定で調整を進めている。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	子どもがいない午前中は常に相談を受け入れられる体制を整えている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	連絡帳・電話連絡に加え、営業時間外でもSNS（LINE）を使った連絡が出来る体制を整えている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	毎月の行事予定表をおたよりで配布、SNSを通じて連絡出来る体制（緊急時のメッセージ含む）、活動の写真をアルバムにしSNSで発信している。（保護者のみ公開）
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	法に従い適切に管理し、職員会議等で職員に対しても年に一度周知を行っている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	各マニュアルは利用契約時に口頭で説明、書面でお渡しをしている。また、事業所玄関にファイルを設置しており、誰でもいつでも常時閲覧可能です。 事業所では年に2度の訓練に加え、地域の訓練にも積極的に参加している。 特に地域の訓練では、AEDの使用方法和心臓マッサージ・土嚢作り・簡易担架作り・デモ消火器を使った消火訓練・バケツリレーなど実践を交えた訓練を行っている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	事業所の事故対応については職員会議等で定期的に職員に周知している。怪我・事故等の状況によっては必要に応じて速やかに病院を受診し、並行して保護者にもご連絡し詳細をお伝えし判断を仰ぐ事もある。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	基本的に軽微な怪我等も含め必ず職員間での共有をし、状況・対応を保護者にも報告するよう事業所全体で努めている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	毎年特に大きな苦情もなく、現在在籍している方は長期間利用して下さっている方が多数で事業所としてもとても有り難く思います。 一方、平日、特に高学年以上の児童は6時間目までの日もあり“療育の概念”がない子ども達には療育の時間を手厚くするために遊びの時間が少ないという事に不満を感じている子もいますが、療育施設という特性上、“一時預かり”や“託児”とならない様に事業所全体で意識しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	当日のカリキュラムや様子などは、お送り時や連絡帳などでご報告させて頂いていますが、利用者が安心して利用出来るように引き続き努めていく。

別表（グラフィック）にて公表